

No.192
2020.7.20

郷土

荘原コミュニティセンター報

荘原のうき

令和2年6月末日現在

世帯数.....2,560戸

男性.....3,549人

女性.....3,796人

合計.....7,345人

発行/荘原コミュニティセンター

出雲市斐川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる荘原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

子ども倶楽部

5/25
(月)

さつまいも苗植え・大豆種まき

自主企画事業

毎年、「子ども倶楽部」では、荘原幼稚園・荘原保育園・東部保育園の3園と合同でさつまいもと大豆を育てています。

春の苗植え・種まきに始まり、夏場の水やりや草取り、秋には収穫、冬には翌年に向けて味噌を仕込み……と、年間を通してわいわいとにぎやかに行われるこの行事ですが、今年は新型コロナウイルスの影響により、開催自体をどうするかを決断を迫られていました。

相談の結果「子ども倶楽部」が出した結論は、状況が良くなった時に、その時点から子どもたちに参加してもらうように、大人だけで準備を進めていこうという内容でした。各園の先生方にもご協力いただき、まずは畑のうね立てとマルチ張りを行いました。

そして迎えた苗植えの日。人数少なめではありましたが、子どもたちも参加できるようになり、その日以来なかったお友達の分も、「美味しくな～れ!!」とおまじないをかけつつ、さつまいもの苗を植えてくれました。その後、大豆の種まきも行いました。秋にはきっと美味しいさつまいもと大豆が収穫できることでしょう。



5/8
(金)

エコ田んぼ

自主企画事業

いつもなら元気な声で溢れる「エコ田んぼ」ですが、新型コロナウイルス感染予防措置のため、小学生の交流学習は、1学期の間制限がかかりました。荘原小学校2年生の子どもたちの姿のない、さみしい田植えとなってしまいました。

先生方と相談して、制限が解除された後一緒に学習ができるよう、田植えだけは「エコクラブ」のみなさんで行いました。連休明けの好天の下で、田植え、動物除けの電線設置、合鴨を上空の敵から守る防鳥網張り等の作業は夕方までかかりました。

5月25日からは、かわいい合鴨たちも放され、元気よく田んぼの草や虫をついばんでいます。稲も鴨も順調に成長しています。「エコクラブ」のみなさんも、秋に子どもたちと一緒に稲刈りができるのを楽しみに待っています。



「農業に携わる若い人に聞く」

荘原地区で活躍する素敵な皆さんを紹介します。



玉木 真二さん



小松原 幸二さん



福島 克博さん



青野 司さん



園山 久美子さん

県外におられた方もいらっしゃると思いますが、農業を目指したきっかけは何ですか？

玉木 真二さん：父はトマトを栽培していました。その様子を小さい頃から見ていて、子ども心に自分もこれをやっていくんだと思っていました。高校卒業後、茨城県で専門学校に通い農業の勉強をしました。地元に戻って農協に勤め、30歳を機にそろそろ自分も（農業を）しようかなと思った矢先、父が亡くなったため父の後を引き継ぎ手探りで始めました。

小松原幸二さん：自分は就農3年目で、アスパラガスの栽培をしています。実家が農家で、小さい頃は農業は大嫌いでした。高校卒業後県外に出て、いろんな業界を経験しました。外側から農業を見る機会があって、嫌だった農業にだんだんと興味を持つようになり、農業も面白そうに思えるようになりました。

福島 克博さん：この4月千葉市から島根に帰って農業をはじめました。小さい頃から簡単な農業の手伝いをしていたので、農業に対して良いイメージを持っていて、しだいに農業に関わりたくなっていました。自分でものを作り出すのがいい……とすると、農業がしたい。それで地元に戻ってきたというわけです。

青野 司さん：就農を始めて4年になります。5年前島根に帰ってきて1年間研修し、（土地を探して）学頭で農業を始めました。

園山久美子さん：私は就農したのが2007年の4月です。祖父は農業をされていて、牛も飼っていたし、（自分の置かれている環境を考えると）自然と農業をやることに繋がったと思います。私は好きとか嫌いとかという感情的なことではなく、生活の一部だったので、早期退職した父が農業をしようと言った時、私も自然な形で（農業を）するという気持ちになったんじゃないかなと思います。

農業は大変だけど、体力とか自信がありますか？

福島 克博さん：敵が飛び越えられなくなったらだめかな(笑)

みんな：園山さんのお父さんは今年70歳で元気にバリバリやっておられる。そうすると自分たちはまだ30年はしゃかりやれるよね。そう思うと頑張れるし、元気な先輩をみると元気をもらえます。



今回は、農業の若い担い手の皆さんに、地域で働くことの意義、農業を目指したきっかけ等、農業への熱い「思い」を語っていただきました。

子どもたちに伝えたいことがありますか？

玉木 真二さん：職場体験をしてきた子どもが訪ねて来てくれてうれしい。野菜嫌いの子でもでも、自分で作ったもの、関わったものは嫌いなものでも食べられるようになるね。

福島 克博さん：ここにいるだけでは世界が広がらないから、故郷から一度出てみるのもいいと思う。

園山久美子さん：小さい時から地域と関わりを持って良さをすりこんで、大きくなって外に出て、小さい頃を思い出して故郷にまた帰ってきたくなる。外に出るから故郷の良さを実感します。

福島 克博さん：地域との関わりは大事です。それは家族のコミュニティがあってこそだと思います。

これからやってみたいことは？

園山久美子さん：ただ出荷するだけではつまらないですよ。目の前のお客さんを見て、直接買ってくれた人が「おいしかった」とか言ってくれる反応がとてうれしいし、モチベーションが上がるよね。

福島 克博さん：こちらで就農してからは販路がないので、友達の親戚とかにお願いしたり、奥さんがやり手の営業で(笑)インスタとかに上げて（お客さんと）繋がりができてきて、お客さんがまた使ってくれると思うとまた頑張れます。顔の見える野菜作りをしていきたい。

玉木 真二さん：現実問題として、直販だけではなかなかやっていけないので、出荷が主になっていて、やりたいこととなかなか折り合いがつかずジレンマだけど、ハウスの前とかで青空市とかやれるといいなと思っている。

小松原幸二さん：今はアスパラガスをメインで栽培しているので、まずは、とにかく美味しくて喜んでもらえるようなアスパラガスを作ることに専念しています。その中で、次世代にもリレーできる循環型農業に取り組み続けたいです。

玉木 真二さん：荘原には温泉があり、いろいろな歴史が詰まっている。また地域の人柄の良さ、環境の良さなど、荘原・斐川のストーリー性のある思いの詰まったモノを作って提供したいですね。

青野 司さん：荘原で頑張っている人をSNSなどで発信・紹介できる人がいるといいですね。すごい意味がある大事なことだと思います。お互いが頑張っている姿や様子を伝えられるし、元気をさせる相乗効果があると思う。

みんな：一人より二人……と、仲間が多いのは、お互いに切磋琢磨し、協力し合い、楽しみ合いながらできるので、二倍三倍とプラス効果がアップすると思う。



この座談会は大いに盛り上がり、農業や故郷への思いを共有できた充実したひとときになったと思います。皆さんありがとうございました。皆さんの更なる飛躍を祈っています。

5/13
(水)

ゴキブリ団子作り

毎年、新玉ねぎの季節になると、「やまももの会」では「ゴキブリ団子」を作ります。台所や洗面所など家中のあちこちに出没するゴキブリ対策のためです。主婦の知恵を集結し、新玉ねぎやホウ酸を使って作る「ゴキブリ団子」は地域のみなさんに好評です。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため地域のみなさんの参加募集は中止し、会員有志の活動としました。



5/21
(木)

廃油石けん作り

使用済みの食用油を使って作る廃油石けん作りは、「やまももの会」が長年継続している活動です。廃油石けんは、廃油を使って作るため環境にも優しく、汚れもよく落ちると評判で根強いファンがいます。「やまももの会」環境福祉部では地域の環境を守り、心豊かに暮らすための活動を行っています。



5/13
(水)

Showバラの会

荘原コミュニティセンターの駐車場に、60本余りの四季咲きのスタンダード仕立てのバラを植えています。これは6年前、荘原の花として「元気な斐川を創る会」のスタッフが考案し植栽したものです。このバラを手入れし、皆さんにいつまでも楽しんでいただくために、この度「Showバラの会」を立ち上げることにしました。

この会の主な活動は、年に2回の剪定、追肥や花柄摘みの講習会、バラの育て方等の講習会です。この活動でバラの育て方を学びながら手入れを定期的に行うことにより、香り高い色とりどりの花が咲き、コミセン来館者をはじめ、通りがかった方に楽しんでいただけたらと考えています。

この会で行う講習会は、地域の皆様に公開しています。皆様の積極的な参加を、ひいては入会をお待ちしています。

※お茶を各自お願いします。

要予約の
ご案内

荘原コミュニティセンターのバラの剪定を行います。
どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひ、ご参加ください。
【日時】8月27日 9時から 【持ってくるもの】はさみ、革手袋

斐川バラの オープンガーデン

町内のバラ愛好家の皆さんが自宅のお庭を開放して行われるイベントで、今年で6年目となりました。5月16日(土)から24日(日)まで、斐川町内7か所のお庭で開催され、荘原コミセンも参加しました。

今年のバラは、例年より素数に咲き誇っていたので、皆様の目と心を和ませ、心の癒しとなったのではないのでしょうか。

来年また皆様に出会えることを楽しみに、花を大切に育てています。

Showバラの会(バラのオープンガーデン)は庄原コミュニティセンター
(TEL:72-4600)
までお問い合わせください。



教室・サークルの紹介

健康体操

今年で17年目を迎えます。若々しく日常生活が送れるよう、毎週月曜日、1時間、ストレッチと簡単な筋力トレーニングで体を動かしています。

まず、ストレッチで体をほぐし血行を良くします。次に、ソフティーボールやゴムベルトを使って、日常生活ではあまり動かない筋肉や関節を動かします。体の機能を維持し、肩こりや腰痛・ひざ痛の緩和・予防につなげます。最後に、マットの上で横になり、運動後のストレッチを行い、体も心もリラックスさせます。

深い呼吸を意識しながら、バランスよく体全体を使うことや、それぞれの体調に合わせて、無理なく体を動かすことを大切にしています。顔馴染みの人たちと、楽しめるのも魅力です。



エンジョイ イングリッシュ

ようこそ、「エンジョイ イングリッシュ」へ海外の人と話せるようになりたい！海外旅行で英語を使って話してみたい！字幕なしで映画が見たい！等の夢を描いて、英会話を楽しんでいます。

お役に立ちたい！というアメリカ、オハイオ州出身のミッシェルさんと、その時々トピックスを語り合ったり、テキストを使って学んだりしています。勿論、文化の違い等も知ることが出来ます。

皆さんも一緒に英会話を楽しみませんか。



ヨガ教室

私たちのヨガ教室は、ストレッチや呼吸法(腹式呼吸)でゆったりとしていて、終わる頃には体がほぐれて気持ち良くなっています。今の体力を維持できる様に頑張っています。みなさんも一緒にやってみませんか。お待ちしております。



書道教室

書道教室は、現在女性11名、男性1名、計12名の会員で、毎月第1・第3木曜日の午後、月2回書道の道に励んでいます。講師は、嘉本美恵子先生。元気で明るく優しく、丁寧に指導いただいています。

文化祭には、漢字・仮名等、皆工夫を凝らし出展しています。今年は、発足13年目。これからも書を楽しみ、会員皆で精進したいと思います。白い半紙と墨の香りで、気持ちが落ち着きますよ。皆様も一緒にどうぞ！



手話サークル つつじ会

手話サークル「つつじ会」です。

聴覚に障害のある方々と手話で楽しく交流をしているサークルです。

障害の有無に関わらず、誰もが普通に暮らしていける社会づくりに、あなたも参加してみませんか。お気軽に寄ってください。お待ちしております。



卓球A教室

みなさんこ

んにちは。わたし卓球A教室は会員9名。第1、第3、第4火曜日に、コミセン集会所で練習に励んでおります。9時から12時までの練習の合間には、おしゃべりに花が咲くこともあり、時にはお料理の話、時には政治の話まで、練習に来たのがおしゃべりに来たのがわからないなんてこともしばしば……ですが、無理せず自分のペースでカラダを動かして、いい汗をかいています。もちろん卓球も少しずつ上達してきて、健康的に楽しく活動しています。

「楽しく仲良く和やかに、みんなで和気あいあい、今日も参加して良かった。」これがわたしたちのスローガンです。



卓球B教室

こんにちは。卓球B教室です。毎月第1、第3、第4の火曜日の午後、私たちB教室の面々が集まってきました。B教室がスタートしてから、かれこれ5、6年は経つのでしょうか？メンバーの入れ替えもありましたが、今は14名の会員で卓球を楽しんでいます。なにしろ全員が高齢者の素人集団ですから、その風景は卓球(ピンポン!!)半分、おしゃべり半分です。(笑)とはいえ、長らくやっている、いつの間にかピンポンが卓球に変わっていて、びっくりのときも。

明るく楽しく元気がよくがモットーです。いっしょに楽しみませんか。お待ちしております。



お礼

寿昌クラブ様よりタオルをご寄付していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



編集後記

野球好きの私は、イチローさんが幅広い世代の生徒の皆さんの日頃の疑問や人生相談に答える、「おしえて！イチロー先生」のWEB動画が話題になっていることを知人から聞き、早速動画を観ました。「老いることをどう思いますか」という質問に、イチローさんは、「…それなりに年を重ねたな、という雰囲気はほしいです。…(その人が醸し出す)出ている空気(感)がありますよね。…エネルギーはやっぱり持っていたい…」。

今号の記事で紹介した若い農業者の座談会の中で、元気な(人生の)先輩を見ると元気をもらえると話して下さいました。見た目は確かに老いても、その人が醸し出すエネルギーは人の心を動かします。私も人生の諸先輩のように、元気なエネルギーを与えられるようになりたいという思いを強く持ちました。

文責(隆)

ご寄付御礼

香典返し 金一封

須田 恒子様(北本町自治会)

吉田 興司様(新田下自治会)

石川 聡様(馬役自治会)

安食 昌史様(湖西自治会)

勝部 一巳様(東本町1自治会)

糸賀 真一様(馬役自治会)

富岡 俊夫様(神田自治会)

皆様から寄せいただきましたお礼状は、荘原地区社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございました。